

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌誌上大会選

市長賞

鹿島壽美子

辞書を引く手に老斑のくつきりと星座みたい
に連なりている

文化振興課長賞

中山 芳子

看護師に肩をさすられ励まされ二度目のカメ
ラ胃に辿りつく

大会長賞

佐々木夫美

炊きたての御飯の湯気にお茶の湯気位牌にた
ちて今日のはじまり

中学生の部

井坂 翔

春の日は川辺に幾多の路のとう緑に包まれ芽
花がのぞく

やわらかな春の日射しに照らされて新しい道
を歩き始める

春風に吹かれてなびく桜木はみんなを応援チ
アリーダーだ

新野中学校

石澤 美月

平昌の宙を舞つてく選手達勇気をもらう受験
シーズン

花の色白い着物で隠れては春まで待てと身を
包むなり

十四日男子がそわそわする頃に私は女子に友
チョコあげる

陶久 ゆら

久米未奈子
気付いたら視線の先にキミがいてようやくキミ
付くキミへの想い
中島 真歩
リビングでテレビに張り付き見る五輪リンク
に立つは愛しの王子

俳句

阿南市俳句連合会選

親子とは仕草も似たり夏燕
 Proudolの伴走つつじ咲く路を
 河内 順子

謝罪する違反の選手夏兆す
 峰 敏勝

新緑に往時を偲ぶ旧家跡
 神原 鹿山

新緑やそれぞれ個性山の景
 青木 慧

たかなや一日見ぬ間の背の丈
 田中 千香

主なき筍山の地の力
 佐野 極童

老鶯や藍墨の文句い立つ
 谷中 紫扇

父親の威厳失せたり蛇小さき
 島 玲子

喜びといふ治療薬五月晴
 宮繁ただし

土肥つや子

川柳

阿南川柳会 鈴木レイ子選

まず座り茶を飲んでから考える
 佐野 智子

ここ掘れと言わない犬と十五年
 高木 旬笑
 中高年親に尽くして子に尽くす
 野口 吾朗
 折れそうな心支えてくれる線
 野村 敏子
 線引きをすればはみ出す過去もある
 原 公美子
 タッチしてスタートに立つ孫三つ
 二階千代美

一般応募

難聴にかまけ聞こえぬ振りをする
 島尾美津子
 鮎二匹恋の浅瀬で鬼ごっこ
 仁井 信子
 私から私に贈るカーペット
 吉田 當代
 あらあらと一枚二枚脱ぐ秤
 武田 敏子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

初夏偶吟

荒瀬左知子

薰風首夏草萋萋
 薰風の首夏 草萋萋
 燕子喃喃何處啼
 燕子喃喃 何の処にか啼く
 一望秧田兆豊歳
 一望の秧田 豊歳を兆し
 鯉旗遠近競高低
 鯉旗遠近 高低を競う

晩春喫茶

神原 常経

躑躅千紅換景行
 躑躅千紅 景を換えて行く
 妍妍翠蔭汲泉烹
 妍々たる水蔭 泉を汲み烹る
 眞成茶味清幽極
 眞成なり茶味 清幽の極み
 縷縷青煙繞膝生
 縷々たる青煙 膝を繞つて生ず

※躑躅：つつじ

北條民雄生誕百年に感有り

大野シゲ子

阿州才筆動都人
 阿州の才筆 都人を動かす
 何耐沈痾几上身
 何ぞ沈痾に耐えんや 机上の身
 生死彷徨命初夜
 生死の彷徨 命の初夜
 心魂秋韻奈青春
 心魂の秋韻 青春を奈せん

※沈痾：年久しく治らない病氣